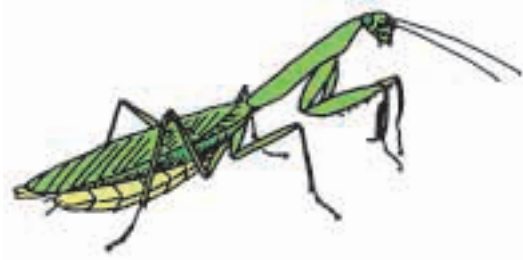


[カマキリの飼いかた]

◎身近に見られるカマキリ

【オオカマキリ】



- ・オス7～9cm、メス7.5～9.5cm
- ・緑色と茶色の2タイプがいる。

【コカマキリ】

赤と黒の紋がある。



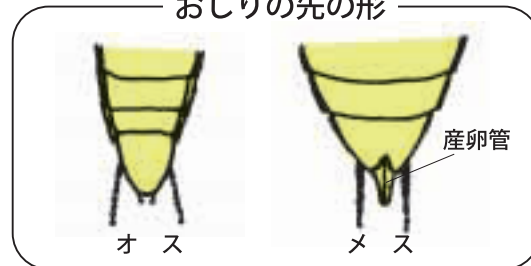
- ・オス4～5.5cm、メス5～6cm。
- ・茶色のタイプがほとんど。

- オオカマキリ、コカマキリは5月ごろに卵から幼虫が生まれ、8月に成虫になり、11月ごろまでみられます。
- この他に、オオカマキリによく似たチョウセンカマキリや体の太いハラビロカマキリなどもみられます。

◎カマキリのオスとメス

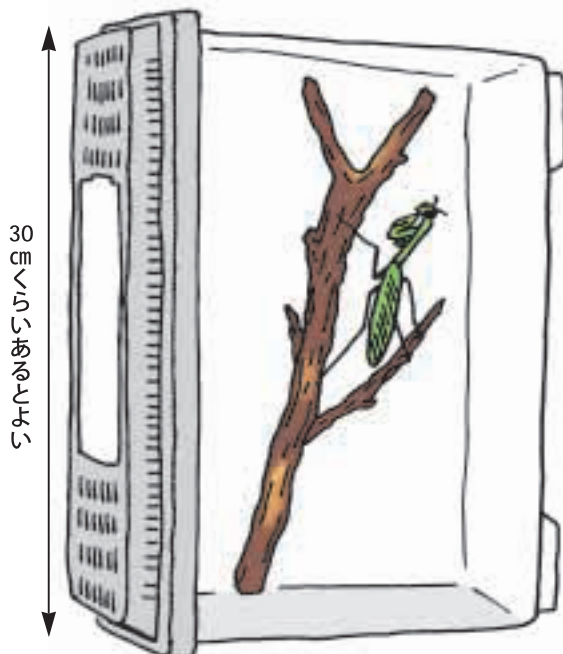
メスはオスよりやや大きく、体も太めで、おしりの先の形がちがいます。

おしりの先の形



◎成虫や大きな幼虫を飼う

カマキリ飼育容器



- ・とも食いをするので、1頭ずつ飼う。
- ・飼育容器を日のあたる場所におかない。
- ・プラスチック水そうをたてにして使い、中に止まり木にする枝を入れる。(幼虫は木につかまって皮をぬぎます)
- ・エサとしてチョウ、ガ、トンボ、コオロギなどの生きた小昆虫を与える。
- ・水分を補給するため、毎日きりふきする。また、リンゴなどを小さく切っておくと、その水分もなめとる。
- ・ファンや食べかすは取りのぞき、容器の中をきれいにしておく。

卵を産ませるには

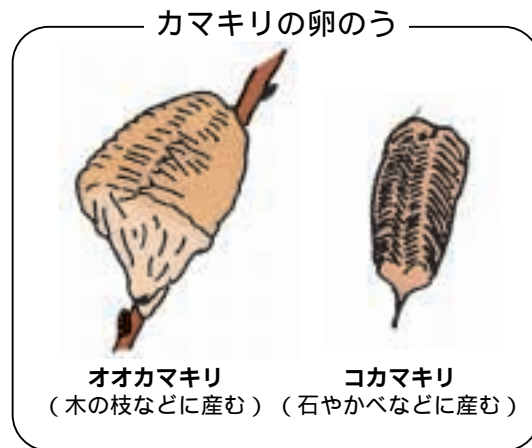
野外でつかまえたメスの成虫は、9～10月ごろに卵を産みます。しかし、幼虫から育てた成虫は、そのままでは幼虫の生まれる卵を産まないのので、交尾をさせる必要があります。

交尾させる

- ・交尾をしたあとのオスの逃げ場を確保するため、できるだけ大きな容器を使う。
- ・交尾前にメスにエサを十分与え、腹いっぱいさせ、そのあとにオスを入れる。
(交尾は、オスがメスの上にのり、おしりの先をつけて行う)
- ・交尾後は、オスを別の容器に移す。

卵と保存のしかた

- ・卵は卵のうというスポンジのようなものの中に入っている(1つの卵のうの中にオオカマキリ100～300個、コカマキリ約100個)。
- ・卵は外気にふれる場所に置き、暖房のかかる部屋に入れな(暖かいと早くふ化する)。



小さな幼虫を飼う

ふ化した幼虫は飼える数(10～20頭)だけのこし、あとは逃がす。

エサの与えかた

- ・ショウジョウバエ・・・空きビンに、いたんだバナナやリンゴなどを入れ、外においておくと、ショウジョウバエが発生するのでビンごと容器の中に入れ、エサにする。
- ・アブラムシ・・・アブラムシのついている枝ごととり、水を入れた空きびんにさし、容器に入れる。
- ・ハエ、カなど・・・幼虫が大きくなるにつれ、大きめのエサを与える。

きりふきは毎日、そうじもこまめにする。幼虫を移す時は直接手でさわらず小筆の先のにせる。

小さなカマキリの飼育容器

